

電算NEWS

# INNOVATION

Vol. **140**  
平成29年4月1日号

編集・発行  
株式会社 電算システム  
総務部広報チーム  
担当：鷺見 小百合  
岐阜市日置江1丁目58番地  
(058) 279-3456

イノベーション(革新)は、電算システムの社是のうちの一語です。

## 第五十期定時株主総会

肌寒い春風が吹く中、当社は、第50期定時株主総会を平成29年3月24日(金曜日)午前10時から岐阜市内のじゅうろくプラザにて開催しました。

### 「多様な価値の取り込み」による成長モデルの創造へ

本総会の目的事項である第50期報告事項の報告および議案の審議に先立ち、代表取締役会長 執行役員CEO宮地正直より、株 価を動かす会社情報、すなわち すぐ財務情報に現れにくい企業 価値として、当社の次なる成長戦 略について、

(1) 世界発のAI(人工知能)を活 用したERPパッケージ(統合基幹 システム)を持つ(株)ワークスアプ リ ケーションズとの資本業務提携  
(2) Google Mapsに精通した(株) ゴーガのM&A  
(3) CBCI(フィリピン)との業 務に続く資本提携による海外展 開など、多様な価値を取り込み、 組み合わせることにより新しい サービスを創造すること、すなわ

ち、新しいことに果敢にチャレ ンジしていくことが、多くの顧 客の感動と支持を得ると述 べ、その基本的事項として、当 社の目指す方向およびあるべ き姿の概要について説明しま した。

本総会は、厳粛な雰囲気の中 中で、報告事項及び決議事項 についてご審議をいただき、活 発な質疑応答が進む中、 様々に有用なご意見も頂戴 しました。

そして、午前11時14分を もつてすべての議事が終了し、 原案どおり承認可決されま した。



↑三百名を超える株主様にご出席頂きました。役員一同、心より御礼申し上げます。

#### 報告事項

1. 第50期(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第50期(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)計算書類の内容報告の件

#### 決議事項

1. 第1号議案  
剰余金の処分の件
2. 第2号議案  
取締役(監査等委員である取締役を除く。)8名選任の件
3. 第3号議案  
監査等委員である取締 役1名選任の件
4. 第4号議案  
退任取締役に對する退 職慰労金贈呈の件

本定時株主総会終了後開催の取締役会において、役員取締役が選定され、就任いたしました。また、代表取締役として宮地正直、田中靖哲の両氏が選定され、就任いたしました。

なお、本総会終結の時をもって辞任する、監査等委員である取締役盆子原誠治氏の補欠として、監査等委員である取締役1名が選任されました。

この結果、当社役員の新陣容は次のとおりです。

代表取締役会長執行役員CEO 宮地 正直 また、取締役を除く執行役員は以下のとおり選

代表取締役社長執行役員COO 田中 靖哲 任され、平成29年4月1日付けで就任いたしました。

専務取締役執行役員 松浦 陽司

専務取締役執行役員 小林 領司 執行役員 井奈波裕司

常務取締役執行役員 杉山 正裕 執行役員 辻本 治

取締役執行役員 加藤 徹 執行役員 高木美智也

取締役執行役員 後藤 治人 執行役員 渡邊 裕介

取締役執行役員 高橋 譲太 執行役員 加藤 公敏

取締役・監査等委員(非常勤) 富坂 博 執行役員 近藤 登

取締役・監査等委員(非常勤) 野田 勇司 執行役員 柳原 一元

取締役・監査等委員(非常勤) 野村 研 執行役員 佐藤 友宣

※CEO＝最高経営責任者  
※COO＝最高執行責任者

## 株主優待人気ランキング

マイベスト株主優待総合ランキング 27位  
地域特産品株主優待ランキング 22位

野村インベスター・リレーションズ株式会社様より刊行されている『知って得する株主優待』という冊子をご存知でしょうか。

平成28年11月1日付にて発行されたこの冊子の特集で、第12回を迎えた今回の「読者が選ぶ株主優待人気ランキング」にて、千二百社を超える株主優待の中から、当社は「総合ランキング」で27位、「地域特産品ランキング」で22位という栄えある評価を頂きました。

岐阜の地で生まれた当社は、地域還元への観点から、毎年岐阜の特産品の数々を株主優待として皆様にお送りしております。自然に恵まれた岐阜で育まれた諸品を、皆様に喜んでいただけるよう吟味して選定し、ご提供いただく店舗や農家の方々と共に、自信を持ってお届けしております。



## 創立 50 周年記念参拝



→ 平成29年3月13日 記念参拝の様子



→ 八雲神社にて  
CBクレイエス会長(右)、  
当社宮地会長(左)

フィリピン収納窓口企業

# CIS Bayad Center, Inc. と資本提携契約を締結

平成29年3月16日付けニュースリリースの通り、当社は、フィリピン最大の電力販売会社メラルコ(MERALCO、上場)の子会社であり、フィリピン最大の収納代行窓口企業、シーアイエスバヤドセンター社(CIS Bayad Center, Inc. 非上場、以下バヤドセンター)の発行する株式の取得に関する契約を締結いたしました。

## 開拓精神のもと、海を越えさらなる「挑戦」

当社とバヤドセンターは、電算システムが日本で提供している収納窓口サービスBiz@gentを元にしたフィリピン国内の小売店向けソフトウェアを開発し、当社社員をバヤドセンターに派遣した上で、同国内



↑握手する両社会長

の小売業店舗との商談を両社共同で推進しております。

今回の資本業務提携は、昨年の3月に締結した業務提携に基づき作業を行うなかで互いの信頼感が深まった結果、提携の深度を深めるべく、資本提携に至ったものです。

3月16日、契約締結のため、同社会長兼メラルコ社長である Oscar Reyes 氏、同社社長 Manuel Tuason 氏を始めとした役員が当社岐阜本社を訪問され、トップマネジメント会議並びに調印式に臨まれました。

当社はバヤドセンターの株式を第三者割当増資により引き受ける予定です。発行済株式数に対する所有割合は5%、出資金額はおおよそ5〜6億円程度を見込んでおります。

## 当社の誇る「収納代行サービス」を着実に海外へ

この資本業務提携の内容は、両社が共同で推進する事業の範囲を拡げ、

- (1) フィリピン国内の収納窓口サービスの高度化
- (2) 更なる海外展開を目指す共同事業
- (3) マルチ決済プラットフォームの共同構築
- (4) バヤドセンター基幹シ



↑契約書に署名する宮地会長

ステムへのIT支援 (5) 当社Googleビジネス活用

といったもので、両社の協業関係の深化を目的としています。これらを実現するため、電算システムからバヤドセンターに取締役員1名を派遣いたします。

バヤドセンターは、同国に5千箇所以上の窓口を持つフィリピン最大の収納窓口業務企業です。

日本で行われている統一バーコードによる取扱い業務の簡素化をはじめとした新しい収納代行ビジネスの構築や同社グループに対して電算システムのITサービスを活用するなど、より幅広い範囲で補完関係を構築すべく、今回の資本業務提携締結に至りました。

多くの人々にとってより快適な暮らしのための有益なサービスを、さらに幅広く提供するため、今後も尽力してまいります。



↑(左から) 当社宮地会長、十六銀行村瀬頭取、CBCレイエス会長

新サービス「Stratosmedia」

# リアルタイムデータの活用で広告が変わる

平成29年2月8日付けニュースリリースの通り、当社は株式会社電通(本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博)と協業し、クラウド型デジタルサイネージ(電子公告掲示板)「Stratosmedia(ストラタスメディア)」を活用した交通移動体向けデジタルサイネージソリューションを提供することとなりました。

また、同月20日、当社は日本の販売代理店を務めている「Stratosmedia」を使った実証実験を、株式会社メトロアドエージェンシー(本社：東京都港区、代表取締役社長：肥後 謙一)とともに、東京メトロ 新宿駅、赤坂駅、虎ノ門駅の3駅にて開始いたしました。

## 都営バス

### 役立つ情報を

### 適時発信

従来型デジタルサイネージでは、事前に登録した情報を、常時もしくは定期的に配信する形であり、状況や閲覧者に関わらず、一方的な情報配信をするに留まっていた。しかし今回、それまで難しかったリアルタイムの諸データ(天気、気温、時間、位置情報など)をトリガーとした情報の常時配信が可能となったのです。

例えば近くにある商業施設

設のイベントに合わせた広告を配信するなど、その時、その場所に合わせた、より効果の高い広告配信をすることができるようになります。

## 東京メトロ

### 実証実験開始

このたび開始いたしました交通系デジタルサイネージとしての展開は、初の試みとなります。

当社は本実証実験を通して、交通系デジタルサイネージに新たな価値創造を生み出すため、さらに尽力してまいります。

## 実施内容

〈実施駅〉

- ・ 東京メトロ 丸の内線 新宿駅 B11 出口前看板
- ・ 東京メトロ 千代田線 赤坂駅 西口改札外
- ・ 東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅 内幸口改札外看板

〈実施期間〉

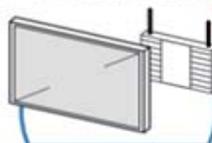
- 平成29年2月15日～平成30年2月(予定) 7時～23時 放映

## 特徴

- ・ クラウド型システムでサーバー構築不要、低コストでスピーディーな導入が可能です
- ・ コンテンツ作成から管理、配信までのシステムをご提供します
- ・ Googleの既存サービスと連携し安定した稼働を実現
- ・ Chrome OS(TM)を搭載したメディアプレーヤーは小型で耐熱、耐塵性が高く、従来のメディアプレーヤーに比べ安価でお得です

### ●サイネージ用ディスプレイ

ロケーションを選ばないサイネージは端末毎に放映を選択できます。



バス内

### ●メディアプレーヤー

Chrome OS(TM)で稼働するSTB \*1  
\*1 セットトップボックスの略

インターネット



駅構内



### ●クラウド型デジタルサイネージ

Google Cloud Platform で稼働するデジタルサイネージプラットフォーム



### ●コンテンツ管理・運用PC

Chromeブラウザで統合管理できるコンテンツ管理ソフトが動作します。

<構成イメージ>